

広陵町教育委員会だより

令和6年度 1月号

1月10日発行

広陵町教育委員会

北葛城郡広陵町南郷583-1

TEL0745-55-1001 文責・編集 植村



水鳥の 鴨の羽色の 青馬の 今日(けふ)見る人は 限りなしといふ

巻20-4494 大伴家持

水鳥の鴨の羽のような青、その目出度い青馬を今日見る人は命限りなしといひます。

「乙巳(きのと・み)」の年に思うこと!

今年の正月3が日は比較的穏やかで暖かな日々でした。保護者や地域の皆様には、ご家族おそろいで、輝かしい令和7年の新春を迎えられたことと思います。

昨年は、学校教育や子育て支援をはじめ、生涯学習、スポーツ振興、文化財保存、図書館活動等の教育委員会の諸事業について、ご理解とご協力、そしてご支援を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。

令和7年(2025年)は巳年です。正式には乙巳(きのと・み)で、「乙」は十干の2番目で、「軋(きしむ)」を意味しています。陰陽五行説では木の陰のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくような意味合いから、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しているようです。「巳」は十二支の6番目で、蛇を表しています。蛇は一般的に怖くて嫌われるイメージもありますが、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。また、巳年生まれの人には蛇のように辛抱強く、粘り強い性格を持つとされていて、知恵や洞察力に優れているとも言われています。

これらのことから、「乙巳」の令和7年(2025年)は、ずっと努力してきたこと、積み重ねてきたものが芽吹き、花開くと一気に最大限まで伸びて、大きく成功するという年になるようです。

ところで、1月、2月、3月の3学期は、年度のまとめの時期であり、それぞれの学年の締めくくりとなる大切な期間です。年長児、小学6年生、中学3年生にとっては、卒園・卒業を控え、園や学校における思い出作りとともに、新たなステージに向けての準備期間でもあります。園や学校における最高学年として、在園児・在校生にこれまでに培ってきた教えと伝統を足跡として伝えるときに、次のステージである小学校・中学校・高等学校への新たな夢と希望を見つけられるよう1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。特に、中学3年生は、人生の中での一つの節目を迎えます。目標とする高等学校等への合格に向けて、一日一日を大切にしてほしいと思っています。

そして、一人一人が「乙巳」の年である今年を、努力してきたこと、積み重ねてきたものが芽吹き、花開いて大いに成功する年にしてほしいと思います。



「怒り」をコントロールしてみては?

新年を迎えて、気持ちも新たに「今年はこんなことに挑戦してみよう」とお考えの方も多いと思います。今回は、自分の感情をコントロールすることの大切さを書かせていただきます。

人間は毎日の生活において、様々な感情を抱えて生きています。よく「喜怒哀楽」と言いますが、その感情の中で一番厄介なのが「怒り」ではないでしょうか。「怒り」はマイナスの感情であるとともに、他人を巻き込む「攻撃性」をもっています。イライラして子どもに当たったり、ものに当たったりすることは、だれでも思い当たることがあると思いますが、この「怒り」は、時として子どもの力をそぐ方向に作用することがあります。

最近、この「怒り」をうまくマネジメントする「アンガーマネジメント」に注目が集まっています。その基本的な考え方は「他人や世間を変えるのではなく、自分を変える」ことだと言われています。その一例として、次のような対処療法があります。これは、怒りの感情を感じたときに、それがどの程度なのか10段階のレベルで表してみようという方法です。日本アンガーマネジメント協会では、レベル1~3が「不快、うっとうしい状態」、4~6が「イライラする、腹が立つ状態」、7~9が「カーッとする、爆発寸前の状態」、そして10が「爆発、震えが止まらない状態」とレベル分けされています。

そこで、何か分かりませんが、「かちん」と腹が立ったときに、「この怒りのレベルは3くらいかな」と「怒り」を数値化してみよう。嘘のようですが、これだけで「怒り」が消えていくらしいのです。これを繰り返していくと、「怒りの程度」を把握できるようになり、結果的に怒る回数が格段に減っていくことになります。「怒り」の感情は自分の健康にも良くないし、怒りをぶつける対象が子どもの場合は、子どもの「やる気」をなくさせることにもつながってしまいます。よく「子どもをほめて伸ばす」と言いますが、なかなか難しいことです。けれど、不必要な「怒り」はなるべく減らしていくことは、少し気をつければだれにでもできることだと思います。今年は、是非「怒り」をコントロールすることに心がけて、周囲の人々や子どもの心を安定させましょう。



詩のコーナー

鏡

森 信三

笑顔で鏡をのぞいたら
鏡の顔も笑ってた
怒って鏡をのぞいたら
鏡の顔も怒ってた
人も鏡のようなもの
あなたが笑って対う(むかう)なら
相手も笑ってこたえよう
あなたが怒って対う(むかう)なら
相手も怒ってこたえよう



教育委員会の取組

第2回こども会議を開催！

12月17日(火)午後2時から、小中学校の児童会・生徒会等の学校代表の子どもたちが集まり、役場3階の大会議室で第2回の子ども会議を開催しました。前は、それぞれの学校、校区を知ってもらうために、子どもたちの視点で各学校の紹介と校区における地域自慢をしてもらいました。また、私の子どもたちへの想いとして、会議の最後に「広陵町の小学校、中学校に通っているみんなが自分の学校や広陵町の良いところを知り、「笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町」にするために、一人一人がアイデアや要望・意見を出し合い、話し合ったことをまとめてきてほしい。」と宿題を出しました。



今回の会議は、各学校からその宿題をスライドを使って3分で発表してもらうとともにその発表を聴いた中で、他の学校の良かった意見やアイデアを基に4つのグループに分かれて意見交流し、最後に一番良いものをリーダーが発表するという内容でした。司会進行は、真美ヶ丘中学校が担当してくれました。

宿題の発表

①は笑顔あふれる学校にするための案

②は笑顔あふれる広陵町にするための案

※ 発表内容は、要約したものを記します。

東小学校

①「あいさつ運動で輪を広げる。」「ニコニコ集会・ピカピカ大作戦をする。」

②「給食への関心が高まるため、バイキング給食をする。」

西小学校

①「あいさつをきちんとしよう。」

②「体育館にエアコンをつけてほしい。」「ブランコの周りに柵をつけてほしい。」

北小学校

①「年齢に関係なく仲良くし、笑顔と元気な声であいさつする。」

②「北小校区内にスーパーをつかってほしい。」「公園に分別できるゴミ箱を設置してほしい。」

真美ヶ丘第一小学校

①「あいさつ運動でみんなが笑顔になり、丁寧な言葉遣いになるなど」「広陵町の魅力カードをつくる。」

②「体育館にエアコンを！」「広陵町がきれいになるクリーンキャンペーンまつりをする。」

真美ヶ丘第二小学校

①「あいさつ運動を児童会活動としてする。」「全校遊びも児童会活動で行う。」「給食中に音楽を流す。」

②「体育館のエアコン設置」「室内で遊べる施設を建設」「きれいな町にする。」

広陵中学校

①「小中学校の交流を増やす。」

②「放送室・体育館のエアコンの設置」「北館のトイレの改修」「冷水機の増設」



真美ヶ丘中学校

①「全学年での交流！」「学校の活動としてボランティアを取り入れる。」

②「広陵町の特産物を活かしたSNS映えする商品をつくる。」

各学校の発表では、各クラスの子どもたち一人一人の意見を地道に反映したもので、どの学校も内容の濃いすばらしい発表でした。

発表の後、各学校入り交じっての4つのグループで一番良いと思われるものを話し合い、それぞれのリーダーに発表してもらいました。以下も要約したものです。



A班 体育館にエアコンを設置することで、体育・部活動もしやすいし、避難所設営もできる。

B班 広陵町の魅力カードを作って、町が好きになったり、PRしたりできる。

C班 交流する施設をつくって子どもの遊び場とする。

D班 他の学校との交流を進めて、子ども同士が仲良くなる。

私は、あとの講評で、「『笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町』にするために、クラス・学年・学校と一人一人の考え・意見を十分に吸い上げて、すばらしい発表をしてくれたことに感謝するとともに、発表してくれた提案、意見をできるだけ実現できるように努力します。特に、多くの学校から要望のあった体育館のエアコン設置については、できるだけ早い期間で実現したいと思います。そして、他の要望で教育委員会としてすぐにできることは、手をつけたいです。」と子どもたちの熱い想いを全身で受け止めて話しました。

第66回広陵町マラソン大会を開催！

12月15日(日)、第66回広陵町マラソン大会を広陵中学校において開催しました。当日は、168名の参加があり、無事全員の方が完走されました。日頃の練習の成果を出そうとして走る方、自分のペースで走る方やライバルとの激しいレースをして上



位入賞を果たす方など、一人一人の思いを持って、大会を楽しめました。

今年から新種目の親子で一緒に走る「ちびっこマラソンの部」では、子どもが先にゴールするといったハプニングもあり、笑顔あふれる大会となりました。

この大会は、「第20回奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」の出場選手の選考会も兼ねており、小学生(5・6年生)男女上位4名の子どもたちは、3月8日(土)に橿原運動公園で開催される駅伝大会に、広陵町代表選手として出場します。(1月11日から毎週土曜日9時から大会に向けて練習がスタートします。)



出入国在留管理局の出前授業！

12月4日(水)に広陵中学校において、3年生を対象に国際理解教育の一環として、出入国在留管理局による出前授業がありました。講座の内容は、主要な業務と外国人との共生社会の実現に向けた取組と外国人の方に言葉や文章を分かりやすく伝えることができる「やさしい日本語」について説明を受けていました。

